

式日

SHIKI-JITSU

脚本・監督: 庵野秀明

岩井俊二
藤谷文子
村上淳
松尾スズキ
林原めぐみ
大竹しのぶ

音楽: 加古隆

エンディング・テーマ

"Raining" Cocco

(ビクター・スピードスターレコード)

原作: 藤谷文子 "逃避夢"

he told me i'm useless
she told me
my face makes her mad
but i'm still here doing nothing
and i feel empty
waiting for someone
to hold me
i know nobody is coming
he told me to die
she told me to see nothing

第13回
東京国際映画祭
優秀芸術貢献賞
受賞作品

スタジオカジノ 第一回作品

製作: 徳間書店

©2000 F&A・STUDIO KAJINO

明日は、私の誕生日なの。

式日

儀式を執り行う日を古い言葉で、式日(しきじつ)という。

この物語は、人なら誰もが持っている自分だけの「式日」、つまり誕生日を迎えられない少女を巡って展開する。

パパもママも病んでいる。みんな病んでいる。そして私は一番病んでいる。



明日を拒絶し、「儀式」と称した不可解な行動を続ける彼女。

映画監督として成功をおさめたものの、創作のモチベーションを失ってしまった男「カントク」は、自分の故郷の街で線路の上に横たわる不思議な「彼女」に出会う。廃虚ビルに自分だけの居場所を築き、線路で、屋上で、地下室でと、奇妙な「儀式」を執り行う彼女。「明日は、私の誕生日なの」と、今日も明日も同じ言葉を繰り返すが、一向に誕生日は訪れない。そんな彼女に興味を覚えた男は、ビデオカメラを手にとり、彼女を被写体として見守ろうとする。

彼女にとっての真実は、自分を傷つけるだけの敵かもしれない。

誕生日とは、自らの存在を世の中から祝福される日。その日を迎えることを拒絶している彼女の過去には、いったい何があったのか? ささやかな触れ合いを通じて、男には少しずつ彼女の心に潜む闇が見えてくる。

肉親の死の悲しみ、置いてきぼりにした母への愛憎、いつも比較された姉への復讐……。辛い現実から逃げ出したがために、今日を繰り返すという狂気に彼女はとらわれていたのだ。

彼女の持つ淋しさや不安を、少しでも和らげたいと願った。

被写体から、いつの間にか彼にとってかけがえのない存在となっていた彼女のために、男は、彼女と母とを対面させようとする。それはまた、虚構の世界の構築から逃れようと苦悩する男の再生行為であるのかもしれない。彼女は誕生日を迎えられるのか? その時そこに、男は居るのか?

藤谷文子の繊細な原作と、岩井俊二の自然な演技を、庵野秀明の美しき映像が紡ぐ。

「式日」は、このうえない淋しさを抱えた男女の出会いから“その日”までの1ヶ月間の物語を、詩的かつ斬新な映像で

綴った異色の作品です。脚本・監督は、アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」で、多くの若者から熱狂的な支持を受けた庵野秀明。この映画「式日」は、画期的な映像表現で話題となった前作「ラブ&ポップ」に続いて庵野監督が挑む実写映画第二弾です。

舞台は高度経済成長期を担った典型的な地方工業都市。撮影は庵野監督の故郷である山口県宇部市にて行われました。これまでの庵野作品で好んで描かれた風景の原点がそこにあったことを発見できそうです。

「カントク」役は、今回が映画初出演となる「Love Letter」「スワロウテイル」の映画監督・岩井俊二。不思議な雰囲気を持つ「彼女」役を、本作の原作を手掛けた藤谷文子が演じます。また、物語の鍵を握る「彼女の母親」役を大竹しのぶが、「彼女」を知る唯一の第三者として出現する「自転車の男」役を「ナビの恋」の村上淳が好演。さらにモノローグを人気声優の林原めぐみと、

今もっとも注目される劇作家の松尾スズキが担当するなど、異色のキャスティングも見所となっています。

また、大胆なセンスのメイクアップとコスチュームは、赤を基調とした幻想的な背景美術と相まって、淋しさにさいなまれ狂気にとらわれつつある「彼女」の心情を見事に表現しています。

さらに、作曲家・ピアニストとして世界的に高く評価され、NHK「映像の世紀」でも知られる加古隆の音楽と、Coccoのエンディング・テーマによって、主人公の孤独と救済が鮮やかなコントラストで描かれます。



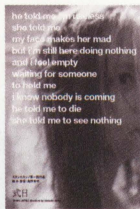
製作総指揮: 徳間康快 / 製作: 鈴木敏夫 / プロデューサー: 高橋望、南里幸 / 撮影監督: 長田勇市(J.S.C.) / 美術: 林田裕至 / 照明: 長田達也 / 録音: 橋本泰夫、清水和法 / 編集: 上野聡一 / 衣裳: 伊藤佐智子 / ヘア・メイク監督: 拓植伊佐夫 / 助監督: 大崎章 / 制作担当: 山本章 / シネスコイズ / 2時間8分

「式日」公認サイト
<http://shikijitsu.ube.ac>

「式日」オフィシャル・パンフレット

「式日」逃避夢

監修: 庵野秀明 / 定価: 1,050円(本体価格1,000円)
A5版ソフト104頁 / 発行: スタジオカジノ



【限定販売のお知らせ】GAINAX SHOPの通信販売でご購入いただけます。詳しくはwww.gainax.co.jp又はTel: 0422-53-5568まで。

「式日」サウンドブック

「be happy. be happy. be happy」式日音楽集

音楽: 加古隆 / 監修: 庵野秀明
定価: 2,000円(本体価格1,905円)
STUDIO KAJINO RECORDS / 発売: スタジオカジノ



【限定販売のお知らせ】GAINAX SHOPの通信販売でご購入いただけます。詳しくはwww.gainax.co.jp又はTel: 0422-53-5568まで。

5月19日(土)
~6月1日(金)
ロードショー
(11:40 / 2:10 / 4:40 / 6:10)

特別前売鑑賞券1400円にて
好評発売中!! (当日一般1700円の処)

最新作 庵野秀明 監督 美しいラブ&ポップ エヴァよりも

ホワイトヒル 梅田泉の広場M-10右とがる南へ5分
扇町ミュージアムスクエア
☎06・6361・0088 www.oms.gr.jp

